

【Power】 John Hall

Just give me the warm power of the sun
Give me the steady flow of a waterfall
Give me the spirit of living things as they return to clay
Just give me the restless power of the wind
Give me the comforting glow of a wood fire
But won't you take all your atomic poison power away

Everybody needs some power I'm told
To shield them from the darkness and the cold
Some may seek a way to take control when it's bought and sold
I know that lives are at stake
Yours and mine of our descendants in time
There's so much to gain and so much to lose
Everyone of us has to choose

1979年3月28日、米国スリーマイル島原子力発電所で原子炉冷却材喪失事故が起きた。

これを機に米国では反核・反原子力運動が盛り上がった。このきっかけとなったのが、同年9月19日から23日にかけてNYのマジソン・スクエア・ガーデンにて行われた「ノー・ニュークス・コンサート/NO NUKES」。

このコンサートでドゥービー・ブラザーズ、ジェームス・テラーと共にジョン・ホールが歌った彼自身の曲、「パワー/Power」が静かながら力強いメッセージソングとして存在感を示した。パワーとは「力」と同時に「電力」の意味でもある。

【POWER】 (日本語バージョン)

太陽の チカラと

絶え間ない 水の流れを

(2: 寄せては返す波のチカラを)

生きとし生けるもので 分かち合おう

(2: 溢れる恵みをみんなで 分かち合おう)

吹き続ける 風のチカラ

燃える薪の炎のぬくもり

原子力の毒のチカラなんて要らない

(2: もう迷わず…いま すぐ 原発止めよう)

太陽と風 水と大地

自然のチカラでともに生きてゆこう)

誰だって 必要だよ

暗やみや寒さの中では

何かのチカラを借りて生きている

鳥たちが 歌う森

虫たちが 息づく大地

魚たちの 泳ぐ水

みな 未来へとつなごう